

写真展



カンボジア王国の今

コンデジで撮った今日のカンボジア

ここまで撮れるコンパクトデジタルカメラの世界

入場無料

2019.6/24 - 30

10:00 - 18:00

6/24 初日 13:00 - 18:00

6/30 最終日 10:00 - 17:00

会場

オリオンACプラザ

駐車場はございませんので近くの
有料パーキングなどを利用ください

写真展期間に
チャリティ募金実施します

このたびの写真展を通して、他者に寛容な仏教国カンボジアに興味を持ち、カンボジアの孤児院を支援するための募金活動にご協力いただけましたならば幸いに存じます。集まりました寄付金のすべては在日カンボジア王国大使館を通して、カンボジアの孤児院への支援金とさせていただきます。

東南アジアにおけるクメール王朝の繁栄を物語る主なアンコール遺跡の写真とともに今日のカンボジアの人々の生活の一端を活写して、日々発展し続けるカンボジアの今を紹介する写真展を開催いたします。

写真展を通して日本の多くの方々にカンボジアを知っていただき、内戦などで全ての社会基盤が無に帰した状態から復興しつつある現在のカンボジア王国の姿を多面的（歴史・社会・文化・自然など）にご理解頂ける端緒となることを願っております。

一般社団法人 EGA のご紹介

太平洋戦争末期から敗戦後の混乱の中で少年期を過ごした私は、カンボジアの将来に強く関心を持ち、同好の志が参じて当社団法人を設立しました。

日本をはじめとする近隣諸国（韓国・台湾等）が、競って飲料用井戸の掘削を進めてきましたが、数千ヶ所に及ぶ井戸のほとんどは「雑菌」のために飲用にならずに洗濯や家畜を洗うことに利用されています。

この他にも善意を持って献じた学校建設等も初期の目的を十分に達せられない状態が目につきます。これらの善意の無駄を有効（友好）な善意によみがえらせる作業こそ私達「EGA」の使命です。

一般社団法人 EGA 代表理事 中村靖夫

撮影者からのご挨拶

みなさんはアンコールワットをご存知でしょうか。

これは、西暦1200年頃にインドシナ半島最大の版図を築いたクメール帝国を代表する遺跡です。近年の研究では、アンコールワットの存在する当時のシェムリアップの地は、産業革命以前ではイギリスのロンドンをも凌駕する世界最大の都市であったことがわかってきました。

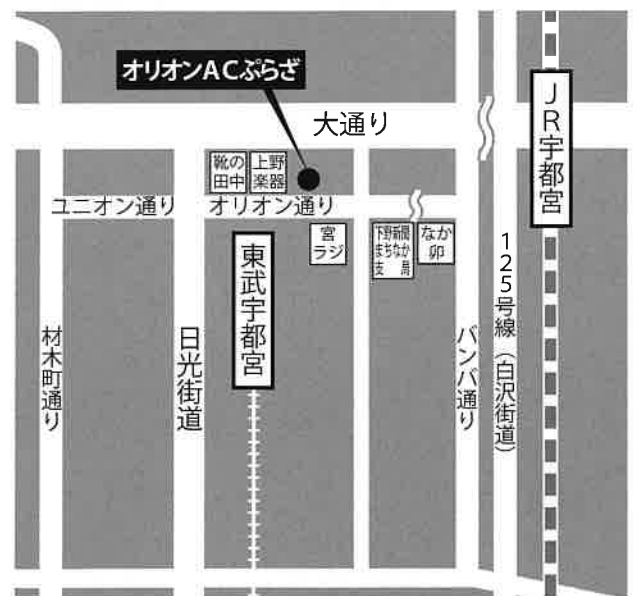
前世紀末に起こったカンボジアの悲劇の歴史（ポルポト政権による自国民大量虐殺）から復興しつつある今日のカンボジア社会では30～40歳代の人口が極端に少なく、平均年齢が25歳ほどであり、他国と比較して若者や子供の姿が数多く見られます。

この若者たちが未来の国づくりの中核を担うことになり、現在のカンボジア社会は働く人々の力強いエネルギーと熱気に満ちておりますが、他方では負の側面として様々な要因で親から離れて孤児院で暮らす子供たちも数多く存在します。

日本とカンボジア王国の友好関係を発展することにより、両国の未来を開く若者たちとともに東南アジア繁栄の一助になれば幸いです。

また、現在のカンボジア人はクメール王朝栄光の歴史を民族の精神の拠り所として、誇り高く生き抜こうとしているように思います。これらのことからアンコール遺跡の写真を幅広く展示いたします。

一般社団法人 EGA 理事 江部修一



駐車場はございませんので近くの有料パーキングなどをご利用ください